

令和4年度 赤穂市学校(園)評価 外部評価報告書

学校園名 赤穂市立城西小学校

総合的な学校園関係者評価

コロナ禍、色々な制限がある中よく取り組まれている。地域との連携の一つとして運営委員会で提案のあった「絵本の読み聞かせ」の行事を復活の方向で、ぜひ検討していただきたい。コロナ対策にご苦労されながら限られた人材の中、創意工夫している。

地域に開かれた学校、地域のコミュニティの中心となる学校であると実感している。城西・小学校運営協議会委員の1人として今後も「城西大好きっ子」を育てることに協力していきたい。

達成状況の評価は適切です。ホームページの「トキドキ城西っ子」は保護者だけではなく地域とのつながり、連携に貢献されていると思うので、無理をせずこれからも継続してほしい。昨年度の自己評価では、達成状況 B 評価が半分程度あったが、そのほとんどが今年度 A 評価に改善されている。WITH コロナの状況下、大変素晴らしいことだと思う。次年度も、継続しさらなるレベルアップを期待する。

個人的にはとてもよかったと感じた。子どもも挨拶を返してくれ、浸透しているのかなと思う。

令和4年度は昨年に引き続き、コロナ禍の中調整を行いながら色々な行事を進めていた。次年度はマスクの緩和ものぞめるので、対策をしながらも、子ども達が心置きなく笑ったり、しゃべったり、歌ったりできる機会が増えればと思う。

1 本年度の学校(園)経営方針

学校教育目標

＜夢と志をもって、未来をたくましく生き抜く児童の育成＞

- (1) 自ら学ぼうとする意欲、「ことばの力」を高める授業づくりを推進し、確かな学力の育成を図る。
- (2) 相手の立場になって想像し、ともに支え合う学級・学年・学校づくりを推進する。
- (3) 赤穂義士をはじめとする地域の歴史・文化・人々とのふれあいを通じて、「城西大好きっ子」を育てる。

2 本年度の学校(園)重点目標

- 1 個を生かす学習指導の充実
- 2 豊かな人間性の育成
- 3 強い意志とたくましい体づくり
- 4 家庭・地域とのつながり・信頼・連携の促進
- 5 学校の組織力及び教職員の資質・能力の向上

学校園関係者評価

◎：適切である ○：ほぼ適切である △：あまり適切でない ×：適切でない

3 自己評価結果 (A～D) A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

観点 (重点目標)	評価項目 (学校園・教師の取組)	評価資料	達成状況	改善の方策	自己評価は	改善方策は	課題と来年度具体的改善方法
					適切か	適切か	
1 個を生かす学習指導の充実	項目 学が楽しさ、わかる喜びを味わえる授業づくり	児童が学ぶ喜びを味わえる授業づくりを進められたか。	ノート 日記 日々の授業 毎時間の発言	A	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットなどの活用について、これからの時代必要不可欠だが、扱い方のマナーやルールもしっかりと学んで欲しい。 ・モニターやタブレットを使用しての授業が、とても良かった。苦手な科目等のデータ収集も可能と思うので、どんどん活用してほしい。SNSやインターネットの良い所、悪い所の話はしっかり行ってほしい。 ・タブレット学習では、オンライン授業や写真を撮ったり調べたり、プログラミングなどのメリットも多々あるが、タイピングゲームに集中しすぎたり国語辞典を購入しているのにタブレットで調べたり、気軽に学習できることからゲーム感覚になっていないか心配な面もある。 ・個に応じた授業の改善に努めている。これからも授業形態を工夫し、きめ細やかな指導を図って欲しい。
	指標	児童自身が各授業におけるねらいとゴールを把握し、学ぶ楽しさを実感することができているか。					
	項目 個の発達に応じた適切な指導	児童一人一人が成就感を味わえる授業づくりができたか。	ノート 日記 日々の授業 毎時間の発言	A			
	指標	授業における振り返りの中で、児童が「めあて」に対して「分かったこと・できたこと」を実感し、それを書いたり話したりすることができているか。					
	項目 基礎基本の定着	児童の意欲を高めながら、きめ細やかな指導が進められたか。	テスト ノート 日々の授業 毎時間の発言	A			
指標	児童が教科の基礎基本の学習内容について意欲的に取り組み、八割以上の習得を得ることができているか。						
「考える力」「表現する力」の育成	項目	各教科・総合的な学習の時間等において、「考える力」「表現する力」を育成できたか。	テスト 日々の授業 毎時間の発言	A	◎	◎	
	指標	児童が考えや意見を伝え合い、自らの考えを深められるよう取り組んでいるか。					
	項目 キャリア教育の推進	夢や志をもとに、具体的な計画を立てることで、それに向かうキャリアプランニング能力が育成できたか。	日々の授業 毎時間の発言 キャリアノート キャリアパスポート	A			
指標	めあてや目標に向かい、自分を振り返りながら日々の学習や活動ができるよう取り組んでいるか。						
2 豊かな人間性の育成	項目 いじめのない安心できる「心の居場所づくり」の推進	児童の自己有用感・自尊感情、コミュニケーション能力を高めることができたか。	日記 日々の活動 毎時間の発言	A	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導委員会、いじめ防止対策委員会での事案の最善策に学校外部のセクションとの共同、つながりがスムーズにできたらいい。 ・毎学期生徒と面談有りとの事、先生の前でしゃべれない子もいると思うので、家での様子等細目なフォローをお願いしたい。

	観 点 (重点目標)	評価項目 (学校園・教師の取組) 評価指標及び目標値(期待される姿)		評価資料	達成状況	改善の方策	自己評価は 適切か	改善方法は 適切か	課題と来年度具体的改善方法
		項目	指標						
2 豊かな 人間性 の育成	全教育活動 を通じた道 徳教育の充 実	項目 指標	道徳の時間を要とし、全教育活動を通じて児童の 内面に根ざした道徳性を養えたか。 道徳の学びが、児童の道徳的実践意欲につながる よう取り組んでいるか。	道徳の授業 道徳ノート 日々の様子	A	<ul style="list-style-type: none"> 道徳的価値の深化を図るため、「自己との対話」「他者との対話」を重視した授業改善をさらに進めるとともに、道徳ノートに自己の考えを記述する時間を十分に確保する。 日常的な教職員の表情や言葉遣いが人権教育の基盤になっていることを意識し、支持的風土のある学校づくりの推進を図っていく。 特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的対応、保護者との連携をさらに推進する。 学校と家庭における指導の一貫性を高めるため、個別の教育支援計画・指導計画の充実を図る。 	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> 参観したあつたくの授業では、一人一人に合わせた授業を行っていた。 一人一人を大切にしたい教育を推進する為にコーディネーターと力を合わせて楽しい学校生活を送れる様に取組を進めて欲しい。
	全教育活動 を通じた人 権教育の推 進	項目 指標	「学習活動・人間関係・環境づくり」が一体とな った取り組みを進められたか。 児童に自他を大切にしようとする心情が育まれる よう取り組んでいるか。	日記 日々の様子 日々の授業 校舎内外の様子	A				
	特別支援教 育の充実	項目 指標	合理的配慮の観点をつまえた指導計画の作成、適 切な支援により能力や個性を伸ばすとともに、自 立心・社会性を養えたか。また、特別支援教育に ついて児童・保護者への啓発に努められたか。 支援を必要とする児童が、指導者と児童で設定し た目標に向かって、安心して生き生きと学校生活 を送ることができるよう取り組んでいるか。	個別の指導計画 個別の教育支援計 画 日々の授業 日々の様子	A				
3 強い意 志とたく ましい体 づくり	健康安全と 生命を育む 体力・気力 づくり	項目 指標	体育科の充実といのちの大切さを感じる保健安全 指導の充実に努めることができたか。 児童がマスクをつける、手洗い・消毒をするなど、 新しい生活様式で求められていることができるよ うに取り組んでいるか。	体育の授業 体育的行事 休み時間の様子 保健室の様子	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアルに基づく感染症対策の徹底を今後も図っていく。 教職員の率先したあいさつ、地域の協力により児童のあいさつに対する意識が高まっている。今後も継続して取り組んで行く。 高い危機意識をもって避難訓練に臨むことができている。その必要性をきちんと指導し、今後も意識向上に努める。 生徒指導委員会を定期的に開催することで、生徒指導に対する適切な指導が組織的に行えている。今後も報連相の徹底を図り、指導の充実を図っていく。 	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 自身の会社でも挨拶は上司から、と言われ私も自ら挨拶を心がけている。そうすると若い層も自ら挨拶してくるように変化してきた。挨拶は、子どもからとは思いますが、先生方も自ら挨拶をしてほしい。学校外を出て歩いていると何人かさようならと言ってくれうれしかった。 衛生管理マニュアルを基本にこれからは安心、安全な学校生活を作って欲しい。基礎的な体力をこれまで以上に付けていって欲しい。 教員だけでなく事務の先生方、学校に関わる方々の全員参加での実施ができているか。城西小学校オリジナルの避難所マニュアル避難行動についてのマニュアルができているかの確認が必要だと思う。
	基本的生活 習慣の確立	項目 指標	「早寝・早起き・朝ごはん」「ノーゲームデー」 運動の啓発と、あいさつ・返事・食育に関する指 導を充実させることができたか。 児童が、あいさつや返事が進んでできるよう取 組んでいるか。	日々の様子 (登下校の様子) (清掃時の様子) 生徒指導委員会 学校保健委員会	A				
	安全教育の 充実	項目 指標	学校安全生活に基づき、交通安全教室、防犯教室、 避難訓練において、効果的な実施ができたか。 児童が、避難訓練に真剣に取り組む、自分で自分 の身を守ろうとする意識を高めることができるよ う取り組んでいるか。	避難訓練 日々の様子	A				
4 家庭・ 地域連 携の促 進	開かれた学 校づくり	項目 指標	学校の教育活動に関する情報を地域や家庭に提供 できたか。 学校の様子や児童の安全安心に係る連絡など、学 校は広く保護者や地域に情報を提供することがで きているか。	学校だより 学年だより 連絡帳 ホームページ オープンスクール	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校 HP 更新や学年だよりにより、学校の様子を広く伝えることができた。今後も情報発信に力を入れ、家庭・地域との連携を強化していく。 外部機関や地域の協力を得た教育活動を推進することができた。今後も、学校運営協議会と協働し地域一帯となった行事を推進していく。 	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> HP で学校の様子を知れてとても良かった。引き続き行ってほしい。 HP をたまに見ていた。近隣の方のアクセスが増えてくれるとさらに良い。 下校時間の変更、悪天候の下校についてなど、連絡メールシステムを見て安心する。継続してほしい。 ホームページの維持・管理に注意しこれからも児童の様子を見せて欲しい。
	地域の教育 資源の活用	項目 指標	学校支援ボランティアやゲストティーチャーなど、 地域の教育資源の活用を図れたか。 心のケア推進員やゲストティーチャーを活用し て、教育活動の充実を図ることができているか。	学校支援ボランティア ゲストティーチャー	A				
5 組織力 ・資 質能力	資質能力の 向上	項目 指標	研究授業などを通してお互いに研究を深め、切磋 琢磨できる教師集団を作ることができたか。 研究授業などを通して自らの指導方法の改善を進 めることができているか。	日々の様子 日々の授業	A	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、教職員集団としての学びを深めていけるよう研究推進体制の充実を図っていく。 業務の多忙化・多様化が進んでいるが、SSS の効果的活用、仕事内容の精選に取り組み、教育の質向上、児童と関わる時間の確保に努めていく。 	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 少しでも事務作業軽減し、早期帰宅又は子ども達との時間を増やしていける様改善を進めてほしい。 難しい課題だが、少しずつ前進してほしい。 児童、教職員が「学校は楽しい」と感じる取組をこれからも図って欲しい。 多忙な中での児童と関わる時間の確保大変だが、義務教育の期間で一番先生とのふれあいを持って、人生の中で一番思い出として残るのが小学校生活だと思うので、業務改善を進めて欲しい。
	ワークライ フバランス の確立	項目 指標	仕事の精選を行うことができたか。 SSS を効果的に活用すると共に超過勤務時間を短くし、プ ライベートの時間を充実させることができているか。	勤務記録簿	B				

自己評価における特記事項

職員同士でゆっくり話をする時間がとれていない。ゆとりが足りない気がする。
こうすれば…と、思ったことは声に出して言うことで少しでも良い方向に変わるよう取り組みたい。
学校行事の精選を行うことで、教師が児童と向き合う時間や、児童の学力向上につなげられる教材研究の時間を確保したい。
これから参加することができる研修が増えてくると思うので、積極的に参加していきたいと思う。

項目以外の点での来年度の課題や具体的改善方法

先生方が心身共に健康でなければ、子ども達に元気に接していけないと思うので多忙化の改善を進めて欲しい。
コロナ後、児童の体力向上を図って欲しい。
TV等で、マスクを外すのが恥ずかしい小中学生が多いことを知った。子ども達の心境は複雑ですが、いじめのない明るい元気な城西っ子の育成をお願いしたい。
若い教員が多いとの事ですので、風通しのいい雰囲気作りを目指してほしい。
メールで返答する遅刻・欠席連絡フォームの活用が電話よりも手軽になってとても良かった。

※達成状況の評価は、評価平均点を示しており、下記の点数で自己点検を行い、教職員数で平均している。

A：達成した4ポイント B：ほぼ達成した3ポイント C：あまり達成できなかった2ポイント D：達成できなかった1ポイント

※職務内容が異なることから、評価項目全て当てはまるとは限らない。また、最終的に「児童アンケート」「保護者アンケート」を考慮した上で、達成状況の評価を決定している。

※達成状況で、評定点数が「3点以上」をA、「2、6以上3未満」をB、「2、6未満」をCとしている。